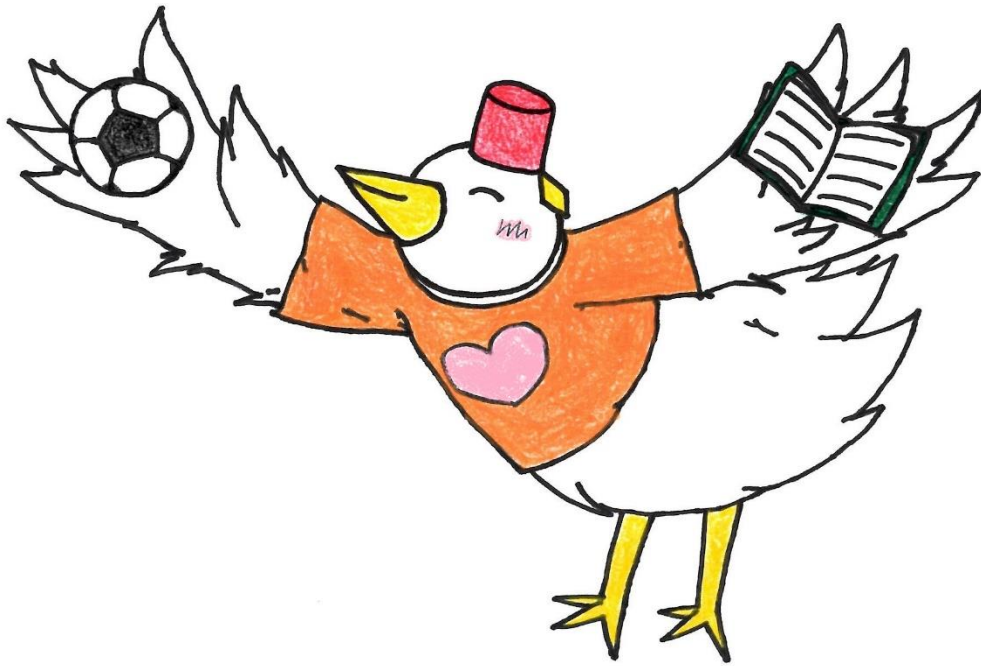


令和4年度

学校保健委員会



令和4年 11月9日(水)
さいたま市立神田小学校



御挨拶

神田小学校 校長 米玉利優子

秋晴れの心地よい季節になりました。美しく色づいている校庭の木々の下で、子どもたちは元気いっぱい走り回っています。日に日に秋の深まりを感じるとともに、寒さが身に染みるようになりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃より、神田小学校の保健活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、学校保健委員会は、児童および家庭の心身の健康の保持増進のために、保健、体育、給食、生徒指導、安全などの様々な視点から学校・家庭・地域が連携を図るための貴重な会ではありますが、本校では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、一昨年度、昨年度の開催を見送っておりました。

今年度も、感染症の影響により、参集形式での実施は叶いませんでしたが、紙面を通じて神田小学校の児童の健康教育に関わる取り組みや、課題点・改善点についてご報告いたします。

神田小学校の児童の実態を共有し、学校、家庭、地域の皆様で見守ることで、児童のより一層の健康の保持増進に繋がれば嬉しく思います。

どうぞよろしく願いいたします。



1 児童の体格について

《1学期の身体測定の結果》

〈身長〉

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
身長 (cm)	R4 神田小	116.3	123.7	128.1	135.9	140.1	146.9
	R3 埼玉県	116.7	122.6	128.7	134.2	139.5	146.7
	R3 全国	116.7	122.6	128.3	133.8	139.3	145.9
女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
身長 (cm)	R4 神田小	115.7	120.9	128.4	134.9	141.1	149.0
	R3 埼玉県	116.5	121.9	127.9	134.5	140.8	147.3
	R3 全国	115.8	121.8	127.6	134.1	140.9	147.3

今年度の統計がまだ発表されていないため、昨年度の統計結果と比較すると、

- ・男子は2年生・4年生・5年生・6年生が、全国・埼玉県の平均を上回っている。
- ・女子は3年生・4年生・5年生・6年生が、全国・埼玉県の平均を上回っている。

〈体重〉

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
体重 (kg)	R4 神田小	21.4	25.5	28.8	33.2	37.0	40.3
	R3 埼玉県	21.9	24.6	27.8	31.5	35.0	39.8
	R3 全国	21.7	24.5	27.7	31.3	35.1	39.6
女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
体重 (kg)	R4 神田小	21.3	23.1	26.9	30.5	35.2	40.2
	R3 埼玉県	21.5	23.8	26.9	31.0	34.8	40.0
	R3 全国	21.2	23.9	27.0	30.6	35.0	39.8

- ・男子は、2年生・3年生・4年生・5年生・6年生が全国・埼玉県の平均を上回っている。
- ・女子では、5年生・6年生が全国・埼玉県の平均を上回っている。
- ・身長も体重も平均を上回っている学年もあるが、身長が平均以上であっても、体重は平均以下の学年もある。

《肥満傾向・痩身傾向》

学校保健統計調査方式（性別・年齢別）による肥満度判定方法を用いて、下記の計算式に則って、児童の体格を評価している。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

	痩身傾向		普通	肥満傾向		
	-20%以下			20%以上		
判定	高度痩身	軽度痩身		軽度肥満	中等度肥満	高度肥満
肥満度	-30%以下	-30%超～ -20%以下	-20%超～ +20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上

各学年の肥満・痩身に該当する児童の割合は以下の通りである。

	肥満傾向児			
	男子		女子	
	R4神田小	R3全国	R4神田小	R3全国
小1	6.06%	5.25%	6.06%	5.15%
小2	11.42%	7.61%	17.94%	6.87%
小3	16.0%	9.75%	23.07%	8.34%
小4	12.5%	12.03%	3.57%	8.24%
小5	19.44%	12.58%	11.76%	9.26%
小6	20.58%	12.48%	26.92%	9.42%

	痩身傾向児			
	男子		女子	
	R4神田小	R3全国	R4神田小	R3全国
小1	0%	0.28%	3.03%	0.49%
小2	0%	0.31%	0%	0.56%
小3	0%	0.84%	0%	0.83%
小4	0%	1.42%	0%	1.66%
小5	0%	2.32%	0%	2.36%
小6	0.98%	2.83%	0%	2.18%

- 学校で肥満度を把握する理由の一つは、将来における生活習慣病リスクを早期発見するためである。
- 成人期以降の生活習慣病は「小児生活習慣病」から、そして小児生活習慣病のきっかけは3歳児頃からの「アディポシティリバウンド※1」から始まるといわれている。
- さいたま市では、肥満度20%以上の小学1～3年生の児童と、肥満度35%以上の小学4年生の児童、中学1年生の生徒を対象に、生活習慣病予防学校検診を実施している。
- 現在、児童生徒の健康は成長曲線と肥満度曲線で把握しており、成長曲線では、個々の児童期特有の発育特性を評価することが出来、病気が原因による低身長、高身長、思春期早発症の早期発見につながる。

《本校児童の体格についての考察》

- 神田小全体では、身長や体重の伸びはおおむね平均に近いと考えられる。
- 肥満の出現率は、ほぼ全ての学年・性別で、全国平均より高い。
- 痩身の出現率は平均より低い。
- 全国と比較するため割合からデータを分析しているが、神田小は人数が少ない学校のため、1人当たりの割合が高くなってしまふことが肥満の出現率が高くなった要因だと考えられる。

《保護者の方へ》

学校では、学校医の成長曲線の評価の結果、発育上で気にかけて頂きたいことがある場合に、該当家庭へ成長曲線と受診のおすすめのお手紙を配付する予定です。

また、ご家庭の方からお子様の発育状態でご心配な点や、詳しくお知りになりたい等のご要望がありましたら、学校までお気軽にお申し出ください。

※1 アディポシティリバウンド：乳児期に増加した体脂肪が幼児になって減少したあと再び増加に転じるタイミングのことを指す。これが早く発生すると肥満のリスクが高いと言われている。

2 本校のむし歯状況 ～歯科健診の結果から～

〈表1〉

神田小 (R4)	実施人数	未処置歯のある者 ^{※2}		処置完了者 ^{※3}		合計(%)
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	
1年	66	14	21.21	2	3.03	24.24
2年	72	20	27.77	18	25.00	52.77
3年	51	12	23.52	2	3.92	27.45
4年	67	15	22.38	12	17.91	40.29
5年	68	7	10.29	2	2.94	13.23
6年	55	11	20.00	16	29.09	49.09
全校	379	79	20.84	52	13.72	34.56

〈表2〉

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
未処置 歯者 (%)	神田小(R4)	21.21	27.77	23.52	22.38	10.29	20.00	20.84
	埼玉県(R3)	13.3	14.0	15.1	12.2	10.2	8.4	12.2
	全国(R3)	19.09	20.42	21.62	20.09	16.81	12.75	18.42
処置 完了者 (%)	神田小(R4)	3.03	25.00	3.92	17.91	2.94	29.09	13.72
	埼玉県(R3)	10.1	15.9	19.7	22.6	18.8	14.7	17.0
	全国(R3)	13.96	19.84	24.41	25.50	22.45	17.38	20.62
合計 (%)	神田小(R4)	24.24	52.77	27.45	40.29	13.23	49.09	34.56
	埼玉県(R3)	23.5	29.9	34.8	34.8	29.0	23.1	29.1
	全国(R3)	33.05	40.26	46.03	45.59	39.36	30.13	39.04

※2 未処置歯のある者：今年度の学校の歯科健診でむし歯が見つかった児童のこと。

※3 処置完了者：過去にむし歯があったが、歯科医院で処置を済ませた児童のこと。今年度の健診で見つかったむし歯を治療した児童のことではありません。

〈表3〉

	埼玉県	神田小	差
1年	23.5	24.24	+0.74
2年	29.9	52.77	+22.87
3年	34.8	27.45	-7.35
4年	34.8	40.29	+5.49
5年	29.0	13.23	-15.77
6年	23.1	49.09	+25.99
合計	29.1	34.56	+5.46

〈表4〉

	全国	神田小	差
1年	33.05	24.24	-8.81
2年	40.26	52.77	+12.51
3年	46.03	27.45	-18.58
4年	45.59	40.29	-5.3
5年	39.36	13.23	-26.13
6年	30.13	49.09	+18.96
合計	39.04	34.56	-4.48

《神田小児童の一人平均 DMF 指数※4の比較》

DMF 歯数(本)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	0.08	0.13	0.19	0.20

※4 DMF 指数：集団における永久歯のむし歯経験を表す指標のこと。少ない方が良い。

D…未処置のう歯

M…喪失歯（むし歯が原因で抜去された歯）、

F…むし歯が原因で処置された歯

《本校児童のむし歯状況についての考察》

- ・表2では、表1の神田小の児童の結果をもとに、埼玉県や全国平均と比較した。
- ・表2の未処置歯者を見ると、1年生、2年生、3年生、4年生、6年生で埼玉県や全国平均を大きく上回っており、学校全体での割合も大きく上回っている。
- ・一方で、表2の処置完了者は、1年生、3年生、4年生、5年生で下回っており、学校全体の割合でも下回っている。
- ・神田小の児童は、埼玉県・全国平均より、未処置のむし歯の保有率が高い傾向にあると言える。
- ・表3では、今までにむし歯になったことのある児童の合計をあらわす【未処置歯者と処置完了者の合計】で埼玉県と比較したが、神田小学校は、1年生、2年生、4年生、6年生で、埼玉県平均を上回っており、学校全体で見ても、県の1年生～6年生の合計を若干上回っている。しかし、全国平均と比較した表4では、2年生、6年生以外は平均値を下回っており、学校全体の平均値も大きく下回っている。
- ・神田小学校は埼玉県の中ではむし歯保有率が高くなっているが、全国的にみると、むし歯保有率は低いと言える。
- ・神田小の一人平均 DMF 指数をみても、永久歯のむし歯は年々減少している。

《神田小学校の歯科保健活動について》

- 神田小学校では現在、年間を通して給食後に歯磨きタイムを設置し、3分間のブラッシングを毎日実施している。
- 歯と口の健康月間を設置し、年2回のカラーテストや長期休みでの歯みがきカレンダー、児童健康委員によるキラリン集会を実施している。
- 埼玉県平均と比べるとむし歯保有率が高いという実態を受け、学校においても今後コロナで自粛していた歯科指導の再開等を検討する。

《保護者の方へ》

1学期の歯科健診時に学校歯科医の先生より、保護者の方による仕上げ磨きの重要性についてお話がありました。歯の生え変わりがある小学生の間は、出来るだけ保護者の方による仕上げ磨きをお願いします。その際、歯磨きとデンタルフロスを併用すると、歯垢の除去に効果があることが証明されていますので、かかりつけ歯科医とも相談しながら、ご活用ください。

また、定期的に歯科医院の受診をすることは、口腔環境の保持とむし歯や歯周病の早期発見に繋がります。口腔内に異変がなくても、定期的な歯科医院の受診をご検討ください。

歯磨きやデンタルフロスを含めた歯の生活習慣は、幼少期の生活様式の中で定着していきます。適切な方法、回数（毎食後）の歯みがき習慣が定着するよう、ご家庭でお声がけください。